

「3・11いわて教会ネットワーク」ニュース

Vol.6 2011年5月29日



小学校通学路の整備

5月3～4日、練馬バプテスト教会のチームが陸前高田・竹駒小学校の通学路を整備して下さいました。釘やガラスの破片など危険物の混じる泥を歩道から取り除き、子どもたちが安心して通学できる環境を整えて下さいました。

山菜料理で大歓迎

5月15日の夕方、住田町の公民館を会場に地域の方々主催の食事会が開催。陸前高田で支援活動にあっていた聖書宣教会のチームもたくさんの山菜料理によってもてなされました。住田町は背後からの被災地支援に、町をあげて取り組んでいます。



サクスのコンサート開催

5月17日、宮古市のボランティアセンター、避難所、旅館の三つの会場でサクスのコンサートを開催。三種類のサクスを手に駆けつけて下さったのは岸義紘先生です。各地から集められたチームがチラシを配布したり、チヂミを焼いたりして備えて下さり、コンサートはどれも大盛況でした。

大船渡で炊き出し

5月18日、カメラホール前で炊き出しを実施。松原湖バイブルキャンプの皆さんによる「とり丼」が大好評でした（裏面記事参照）。また、「熱中時代・刑事編」でヒロイン役をしていたミッキー・ハワードさんの慰問ステージも行われました。



被災地支援活動報告

5月 18 日(火) 大船渡

去る 5 月 18 日(水)大船渡市盛駅前のカメリアホールにて、炊き出しと慰問活動が行われました。炊き出しを行ってくださったのは松原湖バイブルキャンプの皆さんで、この日のメニューは「とり丼」。さすが日頃から大勢の方々に食事を提供しているだけあって、準備や段取りに抜かりはない。避難所からのリクエストに応えつつ、現場での調理や安全性、配膳のしやすさまで考えてのメニューでした。お味の方も評判で、皆さん「美味しい」「絶品」と声を上げてくださいました。

炊き出しの隣では北上から持って行った古本も自由に持っていただけるようにと並べました。マンガ本とかも持っていったのですが、平日ということもあって子どもの姿はなく、結構残りました。また別な形で活用したいと思います。他にも衣類や仙台から持ち込まれたタオルなども自由に持っていただきました。

(佐々木真輝)

5月 23 日(月) 大槌

先週まで被災地支援活動にあたっていた聖書宣教会の神学生達からの報告を受け、私自身は生まれてもいなかった約 65 年前に思いを馳せる。

大槌町にて炊き出しをしていた際、列に並んだ一人の高齢の御婦人が口にした「ノアの箱舟」(創世記)の言葉(炊き出しに並ぶ人の列と箱舟に向かう？出て行く？動物たちの姿が重なったとか)。驚き尋ねて見たところ、戦後すぐの時代にやって来た宣教師から聞いていた聖書の話が思い出されたとのこと。

かつて戦後の荒廃期、福音を携え赴いて、この地域の人々に希望を伝えようとしていた宣教師の存在を知る。どこから来たかも知らぬ名もなき宣教師、しかし御婦人の記憶には残されていたこの宣教師からのバトンが、半世紀以上の時間を越えて今、差し出されている。(近藤愛哉)

5月に支援活動に従事して下さった諸団体

IBF(インターナショナルバイブルフェローシップ)、リーベンゼラ宣教団、キリスト者学生会、練馬バプテスト教会、ホクミン(北海道クリスチャン・ミッション・ネットワーク)、聖書宣教会、バプテスト教会連合、同盟基督教団、松原湖バイブルキャンプ場、JECA 神奈川、3・11 あおもり教会ネットワーク、豊田キリスト教会、浦和キリストチャペル、聖約キリスト教団(岡山)、聖契キリスト教団(千葉)、福音伝道教団(群馬)、広島福音自由教会、キャンパスクルセード、震災復興支援 SBS ネットワーク、宮古コミュニティチャーチ、盛岡聖書バプテスト教会、盛岡みなみ教会、改革派盛岡教会、盛岡チャペル、北上聖書バプテスト教会、水沢聖書バプテスト教会

(その他、多数の方々が個人としてチームに合流し、支援活動にあたって下さいました。)

一つ一つのご奉仕に、心から感謝致します。